

小須戸公民館報

発行 小須戸町中央公民館
〒956-01
新潟県中蒲原郡小須戸町
大字小須戸117番地
TEL (0250) 38-2234
FAX (0250) 38-5210
編集 公民館報編集委員会

学習支援サービス

— 学んだことを地域に広げるために —



「若葉会」のお正月の生け花講座

学習意欲を持つことは素晴らしいことです。しかし「何をしたらいいかわからない」「教えてくれる人がいない」といった方も中にはいらっしゃると思います。そこで、公民館の学習支援体制と生涯学習の結びつきを考えてみたいと思います。

平成九年、雪もなく穏やかな十二月のある日、公民館に鎌倉の婦人会「若葉会」代表の方が来られました。

「お正月の生け花を習いたいのですが、夏川チエ先生にご都合を聞いて頂けますか?」とのことでした。さっそく夏川先生に連絡を取り、十二月三十日に鎌倉地域研修センターで講座を開くことになりました。

そして当日、夏川先生の丁寧な指導で、お正月らしい生け花が出来上がり、参加した八名の方々は感慨深げに眺めていらつしやいました。そして、それぞれの方が家で生け花を生けられ、日本のお正月を満喫されたそうです。

「有志指導者制度」

「ごぞんじですか?」

ここで紹介した「若葉会」の「生け花講座」は、「有志指導者制度」を利用したもので、講師の夏川チエさんは有志指導者として登録されています。

「有志指導者制度」とは各分野で活動している方が講師として登録され、要請があった場合、教室・講座の講師をしていただいています。

学習料は、一回(二時間程度)二千円でグループの負担となりますが、公民館が初心者講座として認めた場合に限り、三回程度までは公民館が負担します。

現在の有志指導者登録状況は十九部門、四十六名です。登録されている方は、生涯学習推進のために助力しようとして出られた言わば生涯学習ボランティアであり、奉仕する事を前提としています。

初心者講座から

自主グループ誕生へ

また、公民館が有志指導者から協力していただいで開設する「初心者講座」があります。

- 平成九年度は、
- ◎初心者社交ダンス入門教室 (参加者二十一名)
- ◎初心者絵手紙講座 (参加者二十四名)

ちょこっと一言

(119)

人権を考え、自分も他人も大切にすることを育む

橋本典子さん

キヤップ C.A.P.プログラムを知っていますか。人権教育に基づき、子どもの内なる力を引き出して心や体への暴行を防止するプログラムです。従来の「...してはいけない」と言い聞かせる危険防止教育とは視点を変え、「安心する」「自信を持つ」「自由に行動する」の三つの権利を寸劇で具体的に説明して



先日、キヤップの講座に参加する機会があり「権利とは人が生きていくために欠かせないもの」としてとらえているその考え方に目からうろこが落ちる思いでした。自分も他人も大切にすることを考え方が地域に広がればと思う講座でした。

入スポーツ少年団見学交流会
一月二十三日(月)〜二十八日(日)
小須戸町では、スポーツ少年団の活動がとても盛んです。現在、九つのスポーツ少年団がありますが、それぞれの少年団がどのように活動しているのか、実際に自分の目で確かめたり、活動の中に入って体験してみるなどして、自分の入りたい少年団を決めてほしいと考えています。



「初心者絵手紙講座」
この中から自主グループが生まれました。

◎楽しい年賀状を書こう

(参加者十四名)

以上の三講座でした。「初心者社交ダンス入門教室」は社交ダンスチームの影響もあってか、夜間の講座にもかかわらず大勢の方から参加していただきました。

「初心者絵手紙講座」と「楽しい年賀状を書こう」は、平日の午前中に講座を設け、主に婦人の方から参加を頂いて大好評でした。

この中で「初心者絵手紙講座」に参加した方から「絵手紙のグループを作りたい」との相談があり、希望者が集まって「絵手紙を楽しむ会」が結成されたばかりです。

自主的学習意欲が大切

「若葉会」の皆さんは自主的に学習内容を決めて講座を開きましたし、「絵手紙を楽しむ会」は初心者講座を受講したことで、共通の学習目的を持った方々が自主的にグループを誕生させました。

こうした「自主的学習意欲」が、公民館において重要な役割である自主グループの結成、

育成、援助。そして生涯学習の推進につながってゆくものと考えます。

生涯学習の大きな目的

現在では、学校中心の教育体系から生涯を通じた学習体系へと移行しています。

それは、急激な社会の変化や文化に対応する学習、また伝統や風習を継承するための学習であり、学ぶことによって潤いのある生活を送り、地域や社会の活性化を図ることを目的としています。

そして生涯学習とおして学ぶことは、知識や技術の習得だけでなく、暮らし、生活上必要な知恵なども得ることができるよう。そんな意味から「自主・自立の生活力」身につける学習」ととらえることもできます。

地域に広がる

学習を目指して

公民館は生涯学習の実践拠点でなければならぬと考えられています。

先に述べました「有志指導者制度」を活用していただくことや様々な講座を開設し受講していただいたりする事で、一人ひとりが学び、皆で学び、地域で学ばずお手伝いをしていきたいと考えています。

そしてそこから地域の活性化と教育力の向上、家庭教育の推進へと広がってゆくように町民の皆様と共に努力してゆきたいと思えます。

県立新津南高等学校 「学校開放講座」 三十二名終了

今年度で四回目を迎えた、県立新津南高等学校「学校開放講座」が、一月三十一日(土)閉講しました。

講師陣は、樋浦校長先生を初め十名の先生方より専門的な分野を丁寧に講話していただきました。

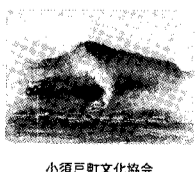
講義内容は、古典・地理・英語・数学・パソコン、そして民謡にいたるまで多種にわたった学科でした。

ほとんどの学科が、生活に密着した学習内容を取り入れ、受講生の方から「学生の時は、こんな習い方はしなかった」との声も聞かれ、先生方の工夫をこらした講義に感激していらつしやいました。

真剣に学習した受講生のみならず、大変ご苦労様でした。

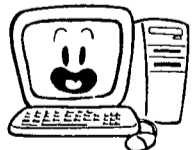


文化協会10周年 記念誌



小須戸町文化協会

「文化協会十周年記念誌」
文化協会が大きく再編されてから十年になり、現在五十七団体、八百余名の会員に発展してまいりました。
これを記念して、来るべき二十一世紀へ向かって更なる発展を期待しての記念誌発行となりました。
内容は、戦後すぐに誕生した小須戸町文化協会の沿革から始まって、十年の歩み、活動紹介、会員名簿等につづいて、多数の文芸作品も収録いたしました。
町民の皆様から是非とも御購読いただいで、小須戸町文化の一片に触れてもらえれば幸いです。

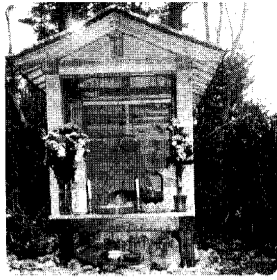


値 段 五〇〇円
申し込み 中央公民館

野仏の耳にささやく風の音 追立の地蔵さま

矢代田の林道「宮田西ヶ崎線」起点から入り、新津クレール射撃場前を右に折れて、下り坂を七メートル程行くと、右手に細い山の登り口があります。この山路を十メートル位登ったところに地蔵さまが安置されています。

地域の人は、この地蔵さまを「追立(おつたて)の地蔵さま」と呼んでいます。しかし、「こすど風土記」には、追立の地名は「人工的なもので、追立は「おたて」で、その位置を示すものでなからうか」と書かれています。この地蔵さまは大勢の人に信仰されており、健康、家内安全、学業成就、商売繁盛はもちろんです。病氣平癒にと、今なお熱心にお参りする方々がおられます。



今なお、地域の人々から熱い信奉を受ける追立地蔵



新しくできあがった祠堂を前にする有志の方々

昔人は、津川、五泉方面より、徒歩または馬を使って菩提寺山を越え、この地蔵さまに旅の無事をお祈りしては、遠く弥彦、寺泊方面まで往復したと言われていました。また、戦後もしばらくは、焚き木や油樽を背負って、一日に何度もこの峠越えが続いていました。その時々々の休憩場所であり、祈りの場所であったと語るお年寄りもおられます。

この度、有志が集い、地蔵さまの祠堂を新しく建て替えました。ふるさとの昔を偲んで、追立の地蔵さまへ足を運んでみてはいかがでしょうか。有志一同

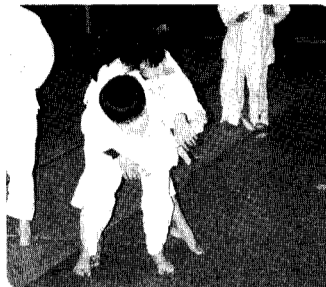
1月の ナイスショット



7日 薨玉
公民館ロビーに飾りました。小正月行事に親しんでいただけでしたが?



22日 聖火ランナー中野大輔くん
無事に走り終えてVサイン!



26日 寒稽古
ガンバレ 1本!

図書だより 〈新刊案内〉

中央公民館図書室

- ・銃口(上・下) 三浦 綾子
- ・青雲はるかに(上・下) 宮城谷昌光
- ・宇喜多秀家 備前物語 津本 陽
- ・タイトル 柳 美里
- ・ブレイン・ヴァレー 瀨名 秀明
- ・破線のマリス 野沢 尚
- ・レイ・ジョーカー 高村 薫
- ・珍妃の井戸 浅田 次郎
- ・死の泉 皆川 博子
- ・秘剣龍牙 戸部新十郎
- ・猛禽の宴 榎 周平
- ・小松左京ショートショート全集 小松 左京
- ・完全版 ダイアナ妃の真実 アンドリュウ・モートン
- ・タイタニックは沈められた

催し物ご案内

◎わたし発見、イキイキ講座
自分らしく生きるために、あなたとわたしのこれからを一緒に考えてみませんか。

日時 三月四日(水)
午後一時三十分～四時
会場 役場集団検診室
対象 四十代～六十代の女性
内容 講演と話し合い
講演とテーマ 「思秋期(更年期)の心と体」(仮題)

講師 小柳恭子先生
(新潟市民病院副看護部長)
申し込み 三月二日(月)までに
小須戸町役場保健福祉課へ
主催 新津保健所
共催 小須戸町役場

◎三月のおもしろ雑学講座
日時 三月十三日(金)
午後七時三十分～九時
講師 間野道英さん
(保護司)
テーマ 「人権と差別語」

ロビン・ディナー

- ・逆説の日本史 井沢 元彦
- ・明日を読む 堺屋 太一
- ・ビッグバン後の日本経済 田中 直毅
- ・歌人の風景 大星 光史
- ・ひ弱な男とフワフワした女の国日本 マークス寿子
- ・井上ひさしの農業講座 井上ひさし
- ・荒野に叫ぶ声 隼石 とみ
- ・母を看取るすべての娘へ 森津 純子
- ・彩花へ「生きる力」をありがとう 山下 京子
- ・小説 上杉鷹山(上・下) 池波正太郎
- ・神々の山嶺(上・下) 夢枕 獯
- ・父丹羽文雄介護の日々 本田 桂子
- ・笑顔で迎える大往生への道

第七十回あがたの恵き 「小須戸展」開催

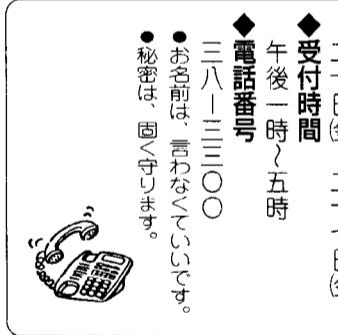
新潟県内百十二市町村を紹介する「あがたの恵き」で、小須戸町の展覧が決まりました。この催しは、主に小須戸町の産業や物産を紹介するものですが、「小須戸町サークル作品展」としてコーナーが設けられ「折り紙教室」と「絵手紙の会」の作品が展示されます。皆さん、小須戸町が大いにPRされている会場に足を運んでいただいて、「花と緑の小須戸町」を新たに見つめ、そして小須戸町のサークル活動の成果を御覧になってください。

開期 二月二十六日(木)～三月四日(水)迄
会場 新潟市上大川前五
※会場案内は、「広報こすど」二月一日号の九ページに掲載されています。

シリーズ 「今、子どもたちは」(18)

のびのびと元気のように字を書いていますね

新年を迎えた一月十四日から十七日まで「校内書き初め展」を行いました。全校児童三九九人の作品を体育室に貼りました。一・二年生は硬筆作品、三～六年生は毛筆作品です。どの児童も二学期の終わりに比べて、発達の様子が見られていいですね。並べてはってあると、発達の様子が見られていいですね。並べてはってあると、発達の様子が見られていいですね。



小須戸小学校 期終の終わりに、冬休み明けに練習し、力をつけてきました。十六日の学習参観日には、新春にあふさわしい音楽を流し、お茶のコーナーを設け、ゆっくと鑑賞してもらいました。「体育室にあると、全校の作品が見られていいですね。」

十年後二十年後に大きな差がつく イキイキ健康づくり教室

年老いたとき「体さえないことをさげば」と嘆きたくないものですね。それにはなんといっても健康に対する毎日の小さな努力! 生活活に気を配るとか体操を続けることです。手足のしびれや痛み・肩凝り・腰痛・手があがらないなど、これらの原因のほとんどは運動不足や関節のズレからくるものです。解決方法は簡単! より効果的な正しい運動のやり方をマスターし、凝った筋肉をほぐし体のあちこちの関節をグルグル動かして血液循環を良くするのです。高齢になってもガクンと悪くならずすみませう。皆さんも健康づくりのために参加してみませんか。

活動内容は、ラジオ体操・腰痛予防体操・健美体操・ストレッチなどです。
毎週土曜日、午後七時半から小須戸小学校体育館で開催しています。
※問い合わせ
小須戸町ラジオ体操普及の会
森田登(☎三八一三三三五)



文芸欄

- | | |
|----|---|
| 柳 | 長年の望みがかなうマイホーム 金メダル狙う大きな望み抱く 稚魚だって希望があるよ錦鯉 希望的観測いつも外れてる 小林みほる |
| 川 | 祖母の手は老いを詫びつつ握り きて落ちし涙をすべなく見つむ 山鳩の鳴く声聞けばその名をば 教えてくれにし若き父思う 村山浩子 |
| 歌 | 庭隅の椿は花芽つけおりて雪降 る日々を耐えて春待つ 降り積もる雪に散りたるささ かの花紅に色あせぬまま 本多玲子 |
| 俳句 | すずき原力の抜けし朝の月 軸替えて床に添へたる福寿草 還暦を待たず友逝く寒現 梅の香を便りにのせて友徳ぶ 雪やんで雪山見しと二、三人 生命の木は給カラスに初冬の日 ギョウギウと白菜漬の重石押す 大霜に切るブロッコリー銀の花 鶯に声あづけて滝の凍りをり 東樹ちよ 田沢 弘 馬場綾子 中野雅世 高橋みどり 吉田素系 佐久間久子 中野太浪 内山越楼 |